

第1章 概要

1-1. 目的

所沢市は、首都圏 30 km圏内という交通の利便性の高さと豊かな自然環境が調和した首都圏有数の住宅都市として発展し、県内第4位となる 34 万人の人口を擁する県南西部地域の中心的な都市として、県経済の発展の一翼を担ってきた。

しかし、近年の国内外の産業・経済や労働等を取り巻く環境の変化の中で、地域経済は厳しい状況にさらされており、所沢市の工業（製造業）においても、製造品出荷額や付加価値額等は継続的な下降傾向にある。

このため所沢市では、平成 23 年 3 月に策定した「第5次所沢市総合計画」において、将来都市像の実現に向けて市の資源や特性を活かした産業振興を図ることをまちづくりの目標のひとつに掲げるとともに、平成 23 年度には、「事業所操業環境状況調査」を実施し、市内の全製造業事業所へのアンケート調査や象徴的な事業所等へのヒアリング調査を通じて、所沢市の製造業の実態や事業所の経営状況・操業環境の実情と課題等を把握した。

この結果を受け、今後所沢市が講じるべき工業振興施策の具体的な方向性について明らかにするため、有識者等からなる委員会を設置し、我が国の産業界の動向や国・県や周辺都市等の工業振興施策の動き、あるいは工業活性化に向けた先進的な取組事例等を踏まえながら、専門的見地から検討を行ったものである。

1-2. 検討の体制等

(1) 「工業活性化施策策定委員会」の設置

所沢市の工業（製造業）について、今後の具体的な活性化方策や産業政策を検討するため、地域産業政策や中小企業支援等に関して造詣の深い学識経験者及び市内の製造業事業所関係者からなる「工業活性化施策策定委員会」を設置した。

図表1 所沢市工業活性化施策策定委員会 委員名簿

氏名	職等	備考
江田 元之	(財)さいたま市産業創造財団理事	委員長
柏木 孝之	西武文理大学 サービス経営学部長	委員
加藤 秀雄	埼玉大学 経済学部教授	委員
島田 孝男	所沢商工会議所推薦(松郷工業団地代表)	副委員長
高橋 弘紀	日本貿易振興機構 関東貿易情報センター所長	委員
三上 誠	所沢商工会議所推薦(三ヶ島工業団地代表)	委員

※五十音順

(2) 「工業活性化施策策定委員会」の開催経緯

工業活性化施策策定委員会は以下のスケジュール・内容で開催し、平成25年3月15日(金)、所沢市長に提案書を提出した。

図表2 所沢市工業活性化施策策定委員会 検討経過

委員会	開催日時	審議内容等
第1回 委員会	平成24年7月13日 10:00～12:00	①委員会の概要説明 ②所沢市の工業(製造業)の現状について ③意見交換
第2回 委員会	平成24年8月24日 13:30～15:45	①短期的に取り組む施策について(中・長期的な取組への展開も視野に) ②工業的土地利用の可能性について ③意見交換
第3回 委員会	平成24年10月12日 10:00～12:15	①まちづくり基本方針の見直しスケジュールと埼玉県市街化調整区域における計画開発(地区計画)の取扱方針について(報告) ②提案書の骨子について ③意見交換
第4回 委員会	平成25年2月8日 13:30～15:30	①提案書(案)について ②意見交換
-	平成25年3月15日 16:30～	提案書の提出

(3) 検討の流れ

①所沢市の立地環境や地域資源の把握・分析

所沢市の工業活性化に向けた具体的な戦略を検討するにあたり、所沢市の立地環境や地域資源を把握し、所沢市が有する工業振興エリアとしての『強み』と『弱み』、今後の所沢市の工業活性化に向けたポテンシャルを分析した。

②所沢市及び周辺・類似自治体の工業活性化施策の動向等の把握・整理

今後の所沢市が講じるべき工業活性化方策を検討する上での資料とするため、所沢市及び周辺・類似自治体の工業活性化施策の動きを把握するとともに、工業振興に向けた先進的な取組事例等を把握・整理した。

③工業振興基盤の整備に向けた制度・条件等の整理

所沢市が今後工業活性化を図る上で重要な課題となる工業振興基盤の強化に関して、特に工業用地整備に関する諸制度・諸条件や検討課題を整理した。

④所沢市における今後の工業活性化方策の検討

「工業活性化施策策定委員会」において、上記①～③及び関連資料等を資料として提示しつつ、今後の所沢市の工業活性化方策のあり方について検討し、提案書として取りまとめた。